

地域から ESD を推進する女性環境リーダー

アジア・アフリカ地域の女子大学院生を対象とした神戸女学院大学大学院人間科学研究科での1年間の研修プログラム
このプログラムは文部科学省平成21年度科学技術振興調整費「戦略的環境リーダー育成拠点形成」プログラムの助成を受けています。



2010年より開始!



飯 謙教授
プログラムリーダー
神戸女学院大学 学長

プログラムの概要

私たちは2010年秋よりアジア・アフリカ地域の女子学生を対象にした1年間の新しい研修プログラムを開始します。このプログラムでは女子大学院生で、環境科学、人間行動学、バイオテクノロジーを学ぶ大学院生やESD（持続可能な開発のために教育）に興味を持つ大学院生をアジア・アフリカ地域から5名受け入れます。このプログラムは文部科学省平成21年度科学技術振興調整費「戦略的環境リーダー育成拠点形成」の援助を受けて行うもので、海外からの研修生は5名の日本人大学院生とともに学びます。研修プログラムには西宮市のNPO法人LEAF（こども環境活動支援協会）でのインターンシップやインターネットを利用したアジア各国の大学教授による特別ライブ講義などを含みます。研修生は神戸女学院大学学長から修了証を授与されます。私たちは持続可能な発展を推進するため環境にやさしい地域社会を構築するために如何に日本の女性が貢献しているかを研修生が実践的に学ぶことを希望しています。私たちはこの研修プログラムを修了した大学院生が将来自分の地域でESDを推進することを望んでいます。

受け入れ可能な海外研修生

このプログラムに応募できる学生はアジア・アフリカ地域の女子大学院生です。私たちは海外研修生が日本の文部科学省を含む種々の機関からの経済的援助を受けられるようサポートします。



カリキュラムの概要（年間スケジュールは図1を参照）

講義とインターンシップを通じて、研修生は自分の地域社会でESDを進める技量を身につけ、日本とアジアの状況を比較することで環境汚染やESDに対する理解を深めることができます。研修は9月に開始され、翌年の8月に修了します。

NPO 法人 LEAF でのインターンシップ（各学期 4 単位）

NPO 法人 LEAF は西宮市でESDを推進する非営利法人(NPO)です。彼らの目的は多くの市民グループ、事業者、市役所と連携して学校や地域社会で地域に根ざした環境学習を始めることによって持続可能な社会の構築に貢献することです (<http://www.leaf.or.jp/e100index.htm>)。研修生は子どもや地域住民を対象にした環境学習、アジア諸国からのJICA研修生への対応などに参加します。

秋学期: 子どもや地域住民を対象にした環境学習、アジア諸国からのJICA研修生への対応など

春学期: 子どもや地域住民を対象にした環境学習、神戸女学院大学ESD関連学部教育への支援など

講義：日本の状況から学ぶ（各学期 2 単位）

神戸女学院大学の教員および外部のゲスト講師が日本における環境汚染やESDの推進について講義します。これらの課題について環境科学、科学技術、生態科学、健康科学、経済学、社会科学や心理学など様々な視点から議論していきます。講義は英語で行われ、神戸女学院大学大学院英文学研究科通訳翻訳コースの大学院生が同時通訳のサポートを適宜行い、教員と研修生のコミュニケーションを促進します。

秋学期: 日本の環境汚染

春学期: 日本でのESDの推進

インターネットを利用したライブ講義：アジアの状況から学ぶ（各学期 2 単位）

神戸女学院大学では遠隔同時通訳機能をもつインターネットライブ講義システムを開発しました (<http://www.kobe-c.ac.jp/enkaku08/index.html>)。このシステムを利用することで、神戸女学院大学の教室と世界の大学とをインターネットを介して結ぶことができます。この講義ではアジア各国の連携する大学の教員がそれぞれの国における環境汚染とESDの推進について講義します。

秋学期: アジアにおける環境汚染

春学期: アジアでのESDの推進



ライブ講義システムを用いた元智大学（台湾）からの講義



学部学生の教育プログラム
「活力ある地域社会を創る
女性リーダーの養成」
(文科省現代GPプログラム)

春休みのフィールドワーク（1単位）

春休みには屋久島や白神山地など日本の世界自然遺産を訪ねます。研修生はそこでボランティアやNPOのスタッフとして活動する女性と地域に根ざしたESDの推進をテーマに意見交換します。

夏休みの2週間インターンシップ（1単位）

研修生は西宮市役所や連携する企業で2週間のインターンシップを行う機会を持ちます。

ダブルディグリー

このプログラムを修了した研修生は1年間に18単位を取得します。希望する学生は下記の条件を満たすことで神戸女学院大学から人間科学の修士号を得ることができます。

- 1) 自分の所属する大学院で12単位履修し、単位相互認定を受けること。
- 2) 英文で修士論文を神戸女学院大学に提出すること。
- 3) インターネットビデオ会議システムを利用して修士論文の発表を行うこと。

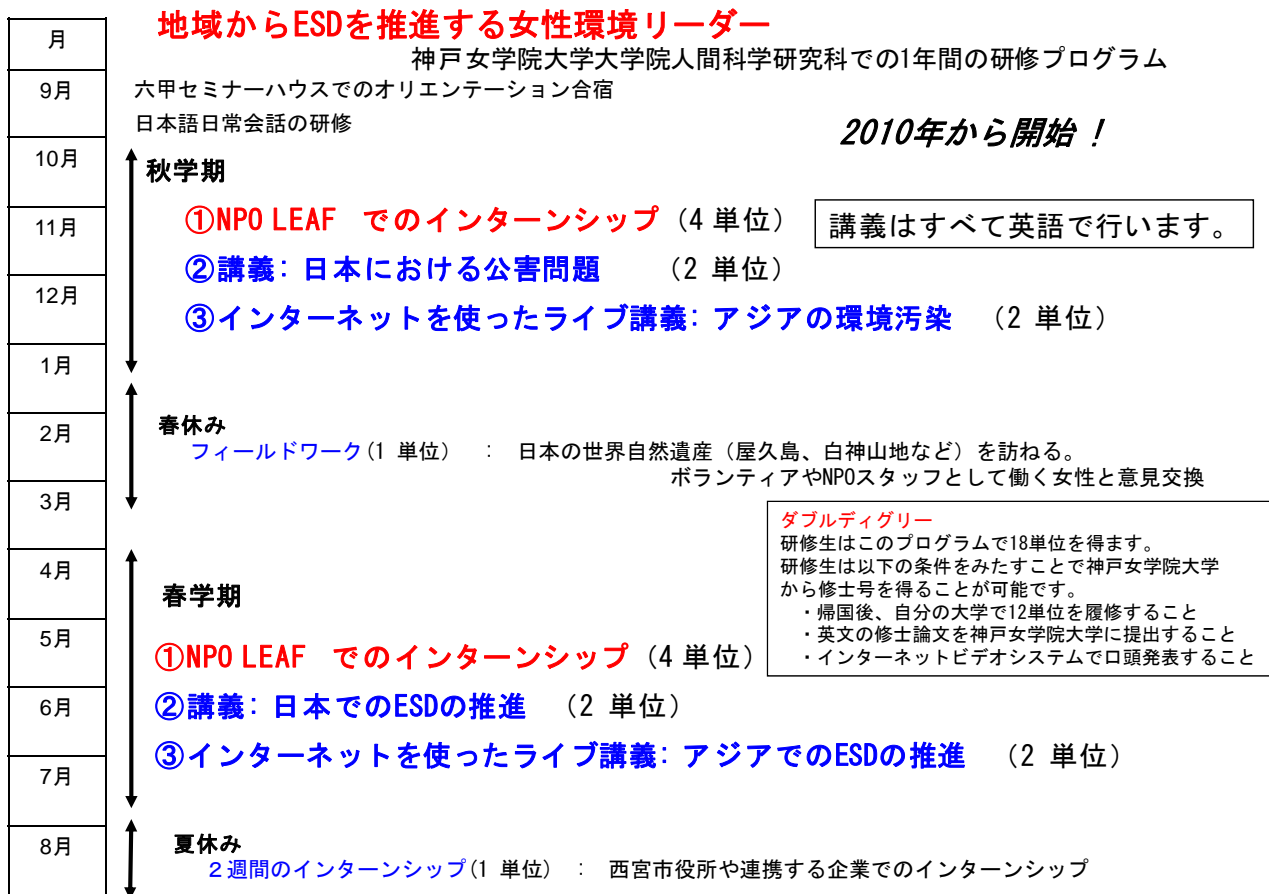


図1 研修プログラムの年間計画

担当教員



西田 昌司 教授
人間科学研究科 研究科長
健康科学



山本 義和 教授
水圏環境科学



長尾 ひろみ教授
通訳翻訳学



遠藤 知二 教授
動物行動学



寺嶋 正明 教授
食品分子機能科学



出口 博 教授
マルチメディア



山 祐嗣 教授
認知心理学



野崎 玲児 教授
植物生態学



張野 宏也 教授
生態毒性学



小林 知博 准教授
社会心理学



三宅 志穂 准教授
環境社会学



西宮市民対象の修士論文発表会



インドネシアでのインターンシップ

人間科学研究科について (<http://humangrad.kobe-c.ac.jp/index.html>)

神戸女学院大学大学院人間科学研究科は次の4つの専門領域から構成されています：臨床心理学、人間行動学、環境科学、健康科学。小規模ですが、学際性に富んだ大学院です。本学では将来社会のリーダーとなる女性を育成する教育に力を入れています。本学の2つの大学院教育プログラムは文部科学省の大学院教育改革支援プログラム（2007-2009）に採択されました。



毎週開催される合同演習



大学院生の居室

神戸女学院大学 (<http://www.kobe-c.ac.jp/ekc/index.html>)

神戸女学院大学は女子の高等教育を行う機関です。1875年の創立以来、神戸女学院大学はキリスト教主義と豊かに生きるための個性と知性の涵養に基づいた教育理念を推進してきました。また、リベラルアーツ&サイエンス教育を行う機関でもあります。リベラルアーツ&サイエンスの起源はギリシア・ローマ時代の系統だった科目である”septem artes liberales”（7つのリベラルアーツ）：文法、論理学、修辞学、算術、幾何、音楽、天文学にさかのぼります。神戸女学院大学のリベラルアーツ&サイエンス教育は独立した精神を持つ個人を育成します。神戸女学院の多様なカリキュラムは批判的かつバランスのとれた思考法を養います。

神戸女学院大学大学院 人間科学研究科

〒662-8505

兵庫県西宮市岡田山4-1

詳細な情報は下記のホームページをご覧ください。

<http://humangrad.kobe-c.ac.jp/ECO/index.html>

問い合わせは下記のアドレスにメールして下さい。

eco_leader@mail.kobe-c.ac.jp



最終修正日：2009年6月23日